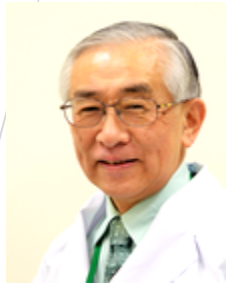


# 東都文京 だより

2021年10月1日 第27号

発行：医療法人社団大坪会  
東都文京病院広報委員会  
〒113-0034  
東京都文京区湯島3-5-7  
TEL: 03-3831-2181

## ご挨拶 —東都文京病院2021年の秋—



お彼岸も過ぎて、めっきり秋めいてまいりました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）もやっと沈静化の気配を感じられるようになりました。COVID-19の第5波は変異株デルタ株の出現により急速に拡大し、7月12日から東京都をはじめとする都道府県に緊急事態宣言が発出されました。全国の新規感染者数は8月20日には2万5867人/日とピークとなり、病院に収容できる患者数を大きく上回りました。そのため、自宅療養中の感染者の死亡が相次ぎ、医療崩壊の様相を呈しました。しかし、その後、新規感染者数は次第に漸減し、9月後半には急激に減少して、緊急事態宣言も9月末日で解除されることになりました。また、この間に無観客で開催されたオリンピック(7/23～8/8)・パラリンピック(8/24～9/5)の選手と関係者の感染者数は合計863人と報告されました。一方、日本のCOVID-19ワクチン接種実施率(1回接種)は6/24現在では20.1%でしたが、9/24現在には67.8%と急増し、急激な感染者数の減少に寄与したものと推察されます。累積感染者数(9/25現在)は、世界全体で2億3千万人、米国4,285万人、日本169万人、死亡者数と死亡率(9/25現在)は、世界全体で473万人(2.0%)、米国68万7千人(1.6%)、日本1万7千人(1.0%)となっています。

東都文京病院は、東京都の要請に応じて、発熱外来、PCR検査、COVID-19(中等症以下)患者さんの入院受け入れなどに加えて、今回の第5波では、ワクチン接種と中和抗体薬の投与を行うようになりました。また、スタッフから感染者を出さないこと、院内感染を起こさないこと、などに心掛けながら、できるだけ一般診療も継続し、病院健全経営の維持に努力しております。

COVID-19の第5波に沈静化の気配が見えるとは言え、まだ予断を許さない状況です。そのような中で、文京区コミュニティバス「B-ぐる」本郷・湯島ルートの運行が9月30日より開始されました。

(裏面に続く)

(つづき)

湯島天神に続く道路の14番停留所が「東都文京病院入口」と命名されました。坂道の多い地域で、多くの方々には通院にご負担をおかけしていますが、「B-ぐる」の運行で利便性が向上し、少し軽減されることを期待しています。

2021年10月1日

東都文京病院院長 杉本 充弘



## 乳がん検診の画像検査・・・マンモとエコーどちらを選ぶべき？

乳腺に生じる腫瘍を見つけ出す検査として最初に手軽に行える検査としてマンモグラフィと乳腺エコーがあります。マンモは放射線をつかって乳房の横顔を映し出し腫瘍を描出する検査です。一方エコーは超音波で乳腺の断面を観察する検査です。それでは乳癌検診を受けるときに行う検査はどちらがよいのでしょうか。結論を先に述べましょう。マンモです。「マンモは痛い」、「マンモは放射線被ばくが心配」、「エコーのほうが細かい病変が見つかる」。エコーで乳がん検診を受けている方はあれこれ理由をつけてマンモを避けておられます。でも、マンモには検診に向いている長所がいくつもあるのです。

- マンモはきちんと撮影すると一枚の写真に乳腺全体が記録されます。それを二人の医師が読影するのですが、一人が病変を見落としても同じ写真を次の医師がみて病変を発見することができます。エコーは乳腺全体の写真は残りません。担当技師が気になった部位を写真には残しますが、見落とされた病変は記録されず後からの見直しはできません。
  - マンモは1枚の写真に乳腺全体が記録されています。いつも同じ方法で撮影しますので、気になる所見があったとき以前はどう写っていたのか過去の写真と並べて比較することがとても容易です。エコーは何か病変をみつけても、それが前回写っていたかどうかの確認が困難です。
  - マンモは一枚の写真に片方の乳腺全体が写っています。乳がん特有のひきつれ病変はマンモでは乳腺構造のゆがみとして評価できます。エコーは森の中に植えてある木を一本ずつ見るようなものなのでゆがみがわかりにくいのですが、マンモは少し離れて森全体を評価するのでよくわかります。エコーは「木を見て森を見ず」・「群盲象をなでる」といった状況に陥りやすいのです。
  - マンモは石灰化がよく見えます。石灰化とはカルシウムの沈着で様々な原因で生じるのですが、乳癌もその原因の一つであり石灰化が乳癌診断の決め手になることがしばしばあります。カルシウムは骨の成分なのでレントゲン検査であるマンモでは非常によく見えます。対してエコーでは石灰化は全く評価できません。
  - ×このようにマンモは検診向きの検査なのですが、マンモにも苦手があります。それは「高濃度乳腺」です。若い方、乳腺が豊かな方、授乳中の方、乳腺が硬化してしまっている方などでは乳腺はマンモで白くつぶれてしまい、内部に腫瘍が隠れていても見つけにくいことがあるのです。そういう方はマンモに加えて乳腺エコーを受けることをお勧めします。
- まずは一度マンモを受けてみて、自分はマンモだけでいいのかエコーも併用したほうがいいのか確認してみましょう。

外科 武藤 泰彦